

Ⅳ 思春期の子どもをもつ保護者を対象にしたプログラム

Ⅳ-4 揺れ動く「新思春期」

対象：思春期の子どもをもつ保護者
時間：70分程度

ねらい	精神的にも肉体的にも変化しはじめる時期（新思春期）の子どもとの接し方を考える。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思春期の子どもの変化を理解することができる。 ○ 子どもとのかかわり方を考え、安定した想いで子育てができるようにする。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1グループ4～6人程度 ○ 資料 資料①：(手持ち) こんなことでお悩みではありませんか？ 資料②：親子のコミュニケーションがよくなる魔法をかけませんか？ ○ 模造紙 ○ 付せん紙 ○ ワークシート ○ 感想記入用紙 ○ 時計 ○ 筆記用具 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク (自己紹介)	・自己紹介により互いに親近感がもてるようにする。 やわらかい雰囲気になるよう心がける。	3つの約束
展開	5分 ワーク1 ・エピソードを読む。 ・グループで話し合う。	◎思春期の子どもをもつ親の不安な気持ちに共感できることをねらいとする。	・ワークシート
	15分 ワーク2 ・実際の困り感や子どもの成長を出し合う。	◎思春期の子どもの変化についてグループで話し合うことで、子どもに対する理解を深めることをねらいとする。 ・子どもの変化に伴う不安等をあげるとともに、成長した面も付せん紙の色を変えて貼る。 ・進行役は必要に応じて、資料①「こんなことでお困りではありませんか？」を読む。 ・困り感の部分を見方を変えればといった、リフレーミングしたとらえ方で成長面を出すことも考えられる。	・資料① (手持ち) ・付せん紙 ・模造紙
	20分 ワーク3 ・不安解消のポイントと成長をさらに伸ばすポイントを話し合う。 ・資料②を読む。	◎思春期の子どもとのよりよい関係づくりについて考えることをねらいとする。 ・不安・成長どちらへも対応のポイントが出せるようにする。ポイントを付せん紙に書いて貼る。 ・最後に資料を読み、話し合いの内容について深める。	付せん紙 資料② 「親子のコミュニケーションがよくなる魔法をかけませんか？」
まとめ 15分	ふりかえり ・感想を記入する。 ・話し合う。	◎振り返りをし、安定した想いで子育てができるようにする。 ・感想や取り入れてみようと思うことを記入し、話し合う。	ワークシート
5分	まとめ ・発表する。	・何人かに発表してもらい、全体で共有する。	感想記入用紙